

「勇気づけのピアノレッスン」 No.13

お陰様でこのコーナーも丸一年が経過し、今回は早くも13回目となりました。最近は、多くの読者の皆様から「毎回楽しみにしています」「共感しました」等、ご感想をいただき、本当に嬉しく思っています。ご質問やご意見も伺っておりますので、お気軽にお寄せいただけましたら幸いです。

＝ピアノの先生って素晴らしい！＝

さて、大変有り難いことに、この連載がきっかけで、昨年辺りから多くの音楽指導者の方々と繋がりをもつことができてきました。私自身、まだまだ未熟者ですので、音楽関係のセミナー等で学ばせていただく機会も多いのですが、そこでも多くの先生との出会いがありました。そして改めて、先生方の素晴らしさに感動を覚えています。多くの先生は、子どもたちの力を伸ばすことに真剣そのもの。その熱心さには頭が下がる思いです。「どんな風に教えたら子どもの能力を伸ばせるのだろうか」を日々研究、実践されているのです。その姿はもう「仕事」を超え「志事」の域だと思えます。「ピアノ」や「音楽」を教えるのみならず、「人格形成」「人間教育」にまで携わっていらっしゃる先生方の活動は本当に尊く、これから社会の中でもっと重視されるべきと思うようになりました。そんな素晴らしい音楽教育を、これからももっと広げていきたい。そして「勇気づけの指導法」が先生方、保護者の方々のお役に立てたら、こんなに嬉しいことはありません。

＝アドラー心理学は「勇気づけ」の心理学＝

昨年から大きなブームとなり、「アドラー心理学」が日本でも多くの人に知られるようになってきました。それでもまだ、音楽指導の現場でどのように使っていけば良いのかが分からないという声も耳にします。「褒めない」「叱らない」で本当に子どもたちを伸ばせるのだろうかというご意見もいただきました。その辺り、確かに分かりにくいかもしれませんが、「褒めて伸ばす教育」が主流の昨今、アドラーが一番誤解を受けやすいのが、この点についてであると、私も認識しています。

＝「褒める、叱る」よりも「勇気づける」という導き方＝

今回から数回にわたり、そのことに関して更詳しくお伝えしていこうと思います。

25年間アドラーを学んできた私でも「褒める」ことについての説明はとても難しく感じています。誤解をされないように先に申し上げておきますと、なんでもかんでもとにかく褒めれば良いというのは、やはり違うのではないかとこのことなのです。そこには、「おとなの言うことを素直にきけばいい」という安易な考えが見え隠れしているからです。そもそも、私たちは子どもたちにどのように育ててほしいと願っているのでしょうか？「褒める」ことだけ続けていくと、どのような人になっていくのでしょうか？次回までに、少しお考えいただけたら嬉しいです。

松井美香

元気と笑顔がトレードマーク「勇気づけの音楽家」・音楽指導者・教育カウンセラー・「藤沢勇気づけの会」代表。東京音楽大学ピアノ専攻卒業。
 <HP>～松井美香ピアノ教室～ <http://matsuimika-piano.net/> ※体験レッスン受付中 <Facebook> <https://www.facebook.com/mika.matsui.94>
 <ブログ>「勇気づけ100の指導法で子どもと親の自己肯定感を育てる」<http://ameblo.jp/makeeachangewithlove>
 ※保護者指導者向け勇気づけセミナー随時開催

CD-BOOK

Franz Schubert ~Winterreise 冬の旅

松本 隆／現代語訳

【演奏】鈴木 准(テノール) ミツ石 潤司(ピアノ)

絶望ほど、深く美しいものはない～松本 隆

シューベルト31歳、ミュラー32歳。若くして逝った二人がそれぞれ作品に込めたものは…。稀代の詩人、松本隆による現代語訳を、気鋭のテノール、鈴木准が、ピアニスト、ミツ石潤司とともに歌い上げる！最初のリリースから20年を経た今、「現代の」若者にこそ聞いてほしい、「現代の」「冬の旅」が登場！

■体裁：B5判変型(186×170mm)／詩集96頁+CD1枚 *ケース入り／本体：3,500円(税別)
 ★2014年12月16-18日(セレスホール：長野県上田市)／デジタル72分

「冬の旅」
 発刊記念コンサート
 お知らせ

■プログラム：松本 隆によるトーク&詞の朗読／「冬の旅」全曲演奏
 ■日時：2015年3月22日(日) 開場 13:30／開演 14:00
 ■出演：松本 隆／鈴木 准(テノール)、ミツ石潤司(ピアノ)
 ■会場：トッパンホール ■料金：全席指定 6,500円(税込) ■お問合せ：キャピタル・ヴィレッジ 03-3478-9999

チケット発売中

2015.2.24 発売



Web版も
バックナンバーが
閲覧できる！
Webならではの
情報が満載！

3月号

2015年2月25日

Gakken
 (株)学研パブリッシング 音楽事業室
 〒141-8412 東京都品川区西五反田2-11-8
 Tel. 03-6431-1220

学研 おんがく.net <http://gakken-publishing.jp/ongaku/> 電子書籍ストア 学研BookBeyond <http://bookbeyond.jp/>

年少時代、ピアノを習っていました。好きだった曲はおいしそうな食べ物や挿絵が入っている曲でした。先生から「はなまる」をもらってもずっと弾いていて、曲を弾くと食べ物や脳内をふよふよよ…。あの時のやる気は違う方向に向いていたような気がします。(お)

ひのまどかさん渾身の一冊 「戦火のシンフォニー」

第25回新日鉄住金音楽賞 特別賞を受賞



「学研音楽まんがシリーズ」を監修していただいている音楽作家、ひのまどかさんが、「第25回新日鉄住金音楽賞 特別賞」を受賞されました。受賞作品は、ノンフィクション「戦火のシンフォニー—レニングラード封鎖 345 日目の真実」(新潮社刊行)。どのような内容なのか、出版社の解説を転載します。

●1942年8月9日、ナチスドイツに完全包囲された、封鎖345日目の古都レニングラード。すべてのライフラインを断たれたこの瀕死の町で、ショスタコーヴィチの超大作、交響曲第7番『レニングラード』を現地初演しようとする80人の音楽家たちがいた！なぜ？何のために？極限状況下、芸術は何の役に立つのか？平和と音楽を愛するすべての人に贈る、驚愕のヒューマン・ドキュメント。

ひのさんはこの本にける思いをこのように語っています。「ショスタコーヴィチは、ナチス・ドイツの攻撃に晒された故郷レニングラードのために、戦火の下で一丸となって戦っているレニングラード市民のために、この交響曲を書いた。最初からこれをレニングラードに捧げていた。これは徹頭徹尾レニングラードのための作品であり、初演は当然レニングラードが行うべきだ」

2003年、取材でペテルブルクの戦争博物館を訪れたひのさん。そこでガイドから、レニングラード出身であるショスタコーヴィチの交響曲第7番の初演に奔走したオーケストラ(ラジオ・シンフォニー)団員の話聞き、彼らの物語を書こうと決意します。2009年から社会人大学に通いロシア語を学びながら取材を開始。資料

研究に留まることなく、自ら現地を訪問し、当時を知る生存者を探し出して話を聞くという、フィールドワークを駆使したこの記録は、濃密で重厚な音楽史、戦争史となったのです。

今回の「贈賞理由」が手元の資料にありますので転載します。(く)

●砲撃、空襲、飢え、寒さ。極限で音楽と共に生きた人たちがレニングラードにいた。誇りを失わぬ美しい人生だった。ひのさんは「戦火のシンフォニー」で、その美しさを描いた。綿密な取材とおさえた筆で。この人でなければできない仕事である。感動おさまらぬまま、感謝の想いをこめて、この人、この仕事を推した。(選考委員：富永壮彦)

新日鉄住金音楽賞ホームページ
<http://www.nssmc.com/csr/social/music/prize.html>

●学研 音楽まんがシリーズ 監修：ひのまどか



伝記 世界の大作作曲家 15人の偉人伝
 世界のピアノ名曲 10-名曲誕生物語-
 世界のクラシック名曲 10-名曲誕生物語-
 ■名：菊判/176~208頁/1C/CD付き 本体価格1,600円(税別)

ピアノの森から

田丸信明先生のすてきなオリジナル曲をご紹介します

第10回

今月は、ただいま制作中の新企画から、まだ出来立てほやほやの田丸先生の書き下ろし曲をご紹介します。タイトルは「ゆうぐれのまち」。企画についてまだ詳しくご紹介できないのですが、レベルは導入～初級です。当然、音域、そして音の動きがとても限られているのですが、そのなかから、夕闇に包まれる家々や街並みが浮かび上がります。シンプル、かつクラシカルな音使いのなかにあふれる情感は、まさしく田丸先生の真骨頂です。(か)

編集部のつぶやいたー！

念願のリコーダーをついに購入！早速音階から。「ド→レ→ミ→×▲*……」 えっ?? 不良品?? するとメーカーの方がクッス。「その運指、ジャーマン式。パロック式でね。納得!!! (く)

subuyaitter..... follow me

twitter [@gakken_music](https://twitter.com/gakken_music) リアルつぶやいたー! 日々のよしなしごとや最新情報をツイートしています!

Lento

大人のレッスン

Lesson.7

黒田篤志 くらだ・あつし
 1973年生まれ。早稲田大学修士課程修了。日本アマチュアピアノコンクール7位入賞。出版社にて楽譜と書籍の編集を担当。現在小山市で、大人のピアノ教室「Lento レント」を主宰するかわら、フリーの編集者、ピアニストとして活動中。
<http://ameblo.jp/pianote0519/>

前回までは、まとまったパッセージを弾く方法について書きました。この方法を右手と左手でゆっくり試していけば、取り組んでいる曲のかかなりの部分を把握できると思います。今回は両手を合わせるコツについてです。
 両手を合わせるときは、縦の要素に注目してもらいます。たとえば右手が16分音符で「CDEFGFED」、左手が8分音符で「CGEG」を繰り返すとしましょう。この場合、左手の「C」と右手の「CD」、同様に「G」「EF」、「E」「GF」、「G」「ED」という組み合わせに注目してもらいます。
 このとき、右手に左手を合わせるか、その逆かという問題が生じます。左手の伴奏が単純な繰り返しの場合は、左手に右手を合わせたほうが弾きやすいかもしれません。経験上、大人の方は右手で音楽を覚えていることが圧倒的に多いので、右手に左手を合わせるほうが進めやすいようです。いずれにしても、やりやすいほうを選択してください。
 はじめは「CD」「EF」「GF」「ED」というように音楽が途切れて、何を弾いているのかわからなくなるかもしれません。しかし、あまりそのあたりのことは気にせず、両手で弾ける感覚を楽しんでもらいます。無理せず把握できる分量を守りながら、少しずつ進めていきましょう。

黒田先生があなたの質問にお答えします！

ピアノの先生の皆さま、大人の生徒の皆さま、日々レッスンの中でお困りのことはございませんか？黒田先生が皆さまのお悩みにお答えいたします。どんな些細なことでもOKです。お気軽にご質問くださいませ！

質問は、おんがく.net内のレッスンQ&Aコーナーまで♪
<http://gakken-publishing.jp/ongaku/hiroba/lesson/rule.html>



音楽は、大雑把にいうと横と縦の要素でできています。たとえばメロディは横の要素、ハーモニーは縦の要素です。また、ピアノは両手を使って演奏しなければなりません。こうしたことを踏まえると、それぞれの手が独立して動いて、ちょうどよいタイミングで右手と左手が合い、横に流れている各声部の音をそれぞれ聴きながら、ハーモニーも感じるのが、理想的な演奏の状態でしょう。いわゆるピアノ学習において、ある段階からバッハのポリフォニーを学び始めるのは、こうした理由からです。しかし、このような状態になるにはかなりの熟練が必要です。バッハのインヴェンションあたりで頭と手が混乱した経験は、ピアノの先生ならば誰でもなさっているのではないのでしょうか。単刀直入に言えば、鍵盤楽器を両手で弾いて音楽的な演奏をするのは、難しいに決まっている！ということです。
 大人のピアノの場合、こうした当たり前の難しさに向き合うことが大切だと思います。両手を合わせるレッスンの日はそのみに集中してもらい、そのほかのことはなるべく指摘しないこと。いろいろな要素を同時に盛り込まないように心がけましょう。

黒田篤志



今月のあかね先生

「1音からはじまる楽しいピアノ・レッスン」に行ってきました！

こんにちは！今回は、担当者（ゆ）が丸子あかね先生のセミナー「1音からはじまる楽しいピアノ・レッスン」のレポートをお届けいたします。
 このセミナーは、あかね先生が先生役、受講者の方が生徒役になり連弾を行うという実践的な内容です。「大切なのは、生徒の気持ちになること」とあかね先生。「生徒」の立場としてあかね先生と連弾できるなんて、なんてぜいたくなのでしょうか！セミナー開始早々感激しました。
 さて、今回のセミナーであかね先生が大切にされていたことのひとつが、「生徒に考えさせること」でした。先生は「どんな音だったのかな？」「どんな気持ちで弾くのかな？」「弾いてみてどうだった？」など、生徒に問いかけます。演奏するうえで、その曲について考えを深めていくことは欠かせませんよね。そういった訓練を導入期から行うことで、音楽的表現ができるようになると先生はおっしゃいます。しかし、それを3歳くらいの子どもに行うのはなかなか難しいもの。例えば、かなしみがテーマの曲について考える場合、3歳の生徒にはそもそも「かなしみ」がどういった感情なのかわからないのです。その言葉に、思わず「なるほど…」と考え込む（ゆ）。あかね先生は、「そういう時は、イラストやその色合いで感情を伝えたり、お話ししてあげることが大切」とア

ドバイス。子どもの立場になって考えることは簡単ではありませんが、普段から生徒としっかりコミュニケーションをとることが大切だと実感しました。
 導入期からげんばんに触れ、音楽について考える経験という種を蒔いておけば、やがて芽になり花となる時が来る…子どもたちの未来がとても楽しみです！（ゆ）

今月のセミナースケジュール

- 3/11（水）：[愛知県/津島]ダイイチ楽器 津島店 『ピアノ教師のためのセミナー 2回シリーズ』
～すてきな音をならしましょう～ 第1回
- 3/12（木）：[三重県/四日市]第一楽器 四日市店 『ピアノ・テクニックのレッスン法～初歩からすてきな音をならしましょう～』
- 3/20（金）：[静岡県/沼津]丹沢楽器店 沼津本店 『ピアノ・テクニックのレッスン法～初歩からすてきな音をならしましょう～』



レッスンが楽しくなる アイディア特集

この春、新しく習い事をはじめのお子さまに、新たな気持ちで頑張るぞ！と意気込む方にレッスンがより一層楽しくなるアイディアをご紹介します。



かわいいレッスンバッグを持ってレッスンに行こう！

新しいレッスンバッグで、気持ちも新たにスタートしてみたいかがででしょうか？楽譜サイズに対応しているので、ピアノ・レッスンはおまかせ。A4サイズも入るので、通学や通勤のサブバッグにも最適。マチもしっかりとあり、荷物の多い新学期シーズンに大活躍です。
 ナチュラルテイストの布に、愛らしいネコと音楽が楽しくなるような柄をプリント。あたたかみのあるブラウンと、ちょっぴり大人っぽい、おしゃれなグリーンの2色をご用意しました。「そのバッグかわいいね」なんていう会話が、お友だちを作るきっかけになるかもしれません！
 さらに、裏地の色にもこだわりが。ブラウンは、つい手に取りたくなるような、ちょっとアンティークな色合いのピンクの裏地。グリーンは、新しい季節にふさわしい、さわやかなミントグリーン。バッグを開くたびに、ハッピー気分になります。

こんなアイディアも！

★新しい門出に贈ろう

入学や卒業のお祝いにプレゼントしてみたいかがででしょうか？さまざまな場面でお使いいただけるデザインなので、きっと喜ばれるはずです！

★おそろいで持ってうれしさ2倍

お友だちと色違いで持てば、さらに仲良しになれるかも。兄弟でおそろいにしてもGOOD

楽譜カバーを付けてレッスンをさらに楽しくしよう！

大切な楽譜にカバーを付けてあげれば、楽譜をきれいに保つことができますし、レッスンもきっと楽しみになります！おうちの練習もより楽しい時間になるでしょう。楽譜の厚みによって調節することができるので、次の楽譜に進んでも付け替えることができます！
 さらに、中面にはうれしいポケット付き。月謝袋やレッスンノートなどの小物は、ポケットに入れば、バッグの中を整理して使うことができます。

こんなアイディアも！

★発表会のプレゼントに

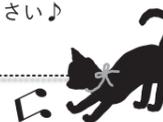
おしゃれなプレゼントに、生徒たちはきっと喜んでくれるはずです。

★レッスンバッグとおそろいで持てばかわいさアップ！

レッスンバッグと楽譜カバーの色をそろえると、統一感が出てGOOD

おまけ

楽譜カバーには何匹のネコがいるでしょうか？
 答えは実際にお手に取って確認してみてください♪
 ウラ側にも隠れているかも…!?



【レッスンバッグ】
 ●サイズ：約 H270×W395×D100mm ●本体価格：各 1,800 円（税別）
 ●主な材質：<表地・持ち手>綿、ポリエステル <裏地>綿、ポリエステル <付属リボン>綿
 [ブラウン] JAN: 4582394251276 品目: 3200002529
 [グリーン] JAN: 4582394251283 品目: 3200002530

【楽譜カバー】
 ●サイズ：約 H325×W660mm（開いた状態）●本体価格：各 1,000 円（税別）
 ●主な材質：<本体>綿、ポリエステル <付属リボン>綿 <しおりリボン>ポリエステル
 [ブラウン] JAN: 4582394251290 品目: 3200002531
 [グリーン] JAN: 4582394251306 品目: 3200002532

つむりの練習手帳

どうもつむりが熟ばっかり出すと思ったら、なんと肺炎でした。いま、病気のほうはすっかりよくなったけど、「ぼんやりつむり」は全然なおらなくて、コンクールの曲のふ読みは、かたつむりよりも進みません。そんなこんなでママがイライラしているから、部活とかサボって家にいると、とばかりをくいまくりです。（トホホお兄）

つむり現在の楽譜

- ☆ハノン・ピアノ教本
- ☆ポリフォニー・アルバム
- ☆海の日記帳
- ☆こどものソナチネ

編集部チョイスおすすめの1曲

ほたるの光（スコットランド民謡）

レベル：★★☆☆

お別れのシーンで有名な曲ですね。4声部のアレンジで、まるで4部合唱を一人で演奏しているようです。ポリフォニーの学習におすすめ！（編曲：伊能美智子）



掲載楽譜
 やさしいポリフォニー2